

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デーサービスホサナ				公表日	2026年 3月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16		部屋は広めですが、活動に合わせて、テーブルの位置を変えたり、大きなものを置かないようしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16		看護師、児童指導員の職員の配置は適切にしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16		玄関や、事業所内には段差はなく、廊下には手すりも設置しています。車いす移動や歩行等はスムーズに行えています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16		清掃を毎日行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16		1人時間を過ごせるように個室があります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15	1	ミーティングや、朝・終礼を通して参加できています。	参加できていない職員に対しては個別に説明し情報を共有致します。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16		保護者からの意向等をミーティング等で報告し業務改善につなげています。	入職間もない職員に関しては個別で説明していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16		ミーティングや、朝・終礼で意見等を把握しています。	ミーティングや、朝・終礼に参加できていない職員には、申し送りノートで確認できるようにしていますが十分に確認されていないことがある為に、確認後にサインをすることとします。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	4		必要に応じて検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16		法人内にて定期的に研修があり、参加できなかった職員に関しては、後日動画を見てレポート学習を行っています。外部研修にも参加しています。	外部研修への参加が少ない為、もっと積極的に外部研修へ参加していきます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16			ホームページを更新していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16		アセスメント聞き取り時に意向の聞き取りを行っています。	定期的にあセスメントの聞き取りを行います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1	個別支援会議を行っています。	職員全体の意見を反映できるようにします。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16		モニタリング会議を定期的に行っています。個別支援計画も職員間で共有できています。	モニタリング会議時には、個別支援計画書と一緒に確認していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16		送迎時にご家族から聞き取りを行っています。	子供たちの特性やニーズを確認していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	1	放課後等デイサービスガイドラインに沿って支援内容を設定しています。	ガイドラインを活用し継続	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2		大きな活動はチームで立案しているが、数名で立案しその日や、その場で行っていることが多い。常にチームで立案し活動できるようにします。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16		季節の行事を取り入れるようにしています。	地域の活動等も情報収集し、活動プログラムを増やしていきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16		個室や、ホールなどの部屋を活用し、個々の特性に配慮しています。	個別対応の部屋が少ない為、使用していない部屋を借りてより良い支援を提供します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	2	朝礼や申し送りノート、送迎板等で支援内容や役割分担を行っています。	時間差出勤の職員が多い為十分に支援内容や役割が伝わっていない事があるので、申し送りノート確認やチーム連携を再編成し徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16		終礼や申し送りノートを活用しています。	時間差出勤の職員がいるため申し送りノートでの確認になっています。確認サインを記載するようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16		電子カルテ、タブレット等を使用し全職員が記録し、確認できるように工夫しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16		定期的にモニタリング会議を持っています。	継続してモニタリング会議を継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	15	1	4つの基本活動を複数組み合わせ支援を行っています。	4つの基本活動をもっと取り入れて支援を充実させていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	2	本人に確認できる際は確認しながら支援を決めている。	瞬きや、体の一部で訴えているこどももいるので訴えを見逃さない様にする。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16		児童発達管理責任者を中心にこどもの状態に応じて管理者、看護師、自発管サポートが参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	1	会議等を通して、こどもの状況や状態に応じて、保険・主治医、保育教育関係機関と連絡調整が行われています。	会議後は、会議録等を必ず提出し確認サインをするようにします。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16		支援学校等の放課後等デイサービス事業所連絡会へ参加し年間行事、下校時間の確認、迎え時の注意事項などの確認をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	2	放課後等デイサービス利用開始前に担当者会議等に参加し、情報共有の場に参加しています。	参加後は議事録や、ミーティングやを確実にし、事業所に情報共有を事前に行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	16		最終担当者会議に参加し、事業所での支援内容についてしっかりと伝えていきます。卒業後も連絡があれば対応しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	5	子育て支援センター等と連携をしています。児童発達責任者を中心に児童指導員研修へ参加しています。	研修参加後の研修報告書を職員全員が確認できるようにしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	7	児童館を利用したりしています。地域を散歩したりして通りすがりの子供たちに挨拶して話しかけたりして少しの交流をしています。	今後は地域のこども達と交流できるような機会をつくっていきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8	8	事業所連絡会に参加しています。	積極的に参加できていない現状なので、職員が参加できるように検討いたします。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16		連絡ノートや、送迎時に職員が聞き取り等行い情報収集が出来ています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	4	ペアトレ研修受講した事あるが、家族参加では行ったことがない	家族向けの研修案内をしていますが参加がほとんどない状況なので、家族がもっと興味を持つ研修を提供できるようにしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16		利用開始前に、事前に時間を持ち運営規定、支援プログラムの説明を必ず行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16		保護者からの思いや本人の思いを確認し、担当者皆員へも参加し作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16		作製した内容をゆっくり説明し確認しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16		家族から悩み等があった場合は、迅速に対応しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	13	3	保護者会を開催していますが参加が少ない為、交流も兼ねて行事を家族参加にしきょうだいの交流にもなるようにしています。	家族会や、行事参加する家族が決まっている為開催日や時間を工夫していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16		すぐに管理者や苦情対策委員会へ報告連絡し、対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16		1/月事業所の広報誌を発行し活動内容や行事予定等を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16		職員全員で周知しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16		こども達とコミュニケーションを摂ることによっていつもと違う事や気づいた事を職員間で共有しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	4	行事等で地域の公民館を借りて、サークル活動を行っている方に余興をお願いしたりしながら地域交流を行っています。	もっと積極的に、地域との連携を図っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	2	避難訓練や感染対策についての訓練を行っています。	定期的にマニュアルを確認する機会を持ちます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	4		定期的に訓練を行います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16		利用開始事前の聞き取りにてできる限りの情報を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16		利用開始事前に関係部署に情報を共有し職員全員で共有しています。	すぐに確認ができるように見える場所に掲示する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16		毎月、管理者が事業所内の安全管理を確認し法人の安全ラウンドに報告し、不備があれば安全対策委員会からの確認で迅速に対応しています。	今後研修や訓練を行い安全管理の認識を強化します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16			ご家族様へ情報を周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16		インシデント報告書で報告し朝・終礼等で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		法人や、事業所内で、勉強会・研修があり参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16		利用開始時に説明は行っています。法人内に身体拘束に関する同意書を作成しています。	今後記載していきます。	